



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月1日

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所 大
 コード番号 5970 URL <http://www.g-tekt.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 俊嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 木下 三五郎 (TEL) 048-646-3400
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	38,321	38.4	3,744	501.9	3,535	824.6	2,196	△76.7
24年3月期第1四半期	27,687	94.1	622	△59.3	382	△75.6	9,416	845.0

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 4,589百万円(△55.5%) 24年3月期第1四半期 10,312百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	116.14	—
24年3月期第1四半期	497.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	135,219	65,095	43.0
24年3月期	129,944	60,879	41.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 58,101百万円 24年3月期 54,051百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	75,000	38.8	6,500	361.1	6,500	965.8	4,500	△52.7	237.86
通期	154,000	13.8	12,500	27.8	12,000	35.4	8,000	△41.7	422.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、 除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	18,934,730株	24年3月期	18,934,730株
25年3月期1Q	21,966株	24年3月期	21,910株
25年3月期1Q	18,912,775株	24年3月期1Q	18,934,595株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・ この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

<u>目次</u>		頁
1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	3
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3.	四半期連結財務諸表	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	(3) 継続企業の前提に関する注記	8
	(4) セグメント情報等	8
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
	(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における国内外の経済情勢は、国内景気は依然として厳しい状況にあるものの、個人消費や輸出が底堅く推移したことなどから、企業の生産活動や設備投資は緩やかに持ち直しており、総じて回復基調で推移いたしました。

海外については、米国では個人消費や設備投資の増加など、緩やかに回復し、中国、インドなどのアジア地域では、一部に景気拡大の鈍化傾向が見られ、内需を中心に緩やかながら景気拡大の動きが続きました。欧州においては、総じて景気は足踏み状態で推移いたしました。

自動車業界につきましては、国内ではエコカー補助金効果等によりハイブリッド車など低燃費車を中心に生産、販売が回復してまいりました。海外におきましては、中国において新車販売に鈍化傾向が見られましたが、北米、欧州などにおいては、生産、販売が回復してまいりました。

このような状況のもと当社グループは、国内外において新型車に係る受注部品の量産立ち上げに注力するとともに、インドネシア及びメキシコの新会社稼働準備を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績については、東日本大震災の影響を受けた前年同四半期に比べ、日本、北米を中心に得意先の生産が回復し、売上高は38,321百万円（前年同四半期比38.4%増）、営業利益は3,744百万円（前年同四半期比501.9%増）、経常利益は3,535百万円（前年同四半期比824.6%増）となりました。四半期純利益については、2,196百万円となりましたが、前年同四半期においては高尾金属工業株式会社との合併による負ののれん発生益が計上されたため、前年同四半期比は76.7%減となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

日本については、主要得意先の生産が回復基調で推移し、売上高は13,163百万円（前年同四半期比87.5%増）、セグメント利益（営業利益）は1,588百万円（前年同四半期は365百万円のセグメント損失）となりました。

②北米

北米については、年初から主要得意先の生産拡大が継続し、売上高14,693百万円（前年同四半期比111.6%増）、増量効果もあり、セグメント利益（営業利益）は765百万円（前年同四半期は470百万円のセグメント損失）となりました。

③欧州

欧州については、車体部品の売上が増加しましたが、型設備売上が減少し、売上高は2,165百万円（前年同四半期比21.6%減）、セグメント利益（営業利益）は279百万円（前年同四半期比53.1%減）となりました。

④アジア

アジアについては、タイの一部で増産や金型設備の販売がありましたが、洪水被害からの立ち上がりの影響が残り、売上高は3,705百万円（前年同四半期比18.4%減）、セグメント利益（営業利益）は470百万円（前年同四半期比31.7%減）となりました。

⑤中国

中国については、車体部品の売上が減少し、売上高は6,188百万円（前年同四半期比8.6%減）となりましたが、製造経費の減少もあり、セグメント利益（営業利益）は620百万円（前年同四半期比37.8%増）となりました。

⑥南米

南米については、主に為替評価の影響により、売上高は1,300百万円（前年同四半期比12.5%減）、セグメント利益（営業利益）は91百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より5,275百万円増加し、135,219百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、仕掛品、有形固定資産の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より1,058百万円増加し、70,123百万円となりました。これは主に、買掛金、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金の増加、未払法人税等、長期借入金の減少によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末より4,216百万円増加し、65,095百万円となりました。これは主に、利益剰余金、為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想については、平成24年4月27日発表の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の海外連結子会社における有形固定資産の減価償却方法は、従来、定率法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、東日本大震災及び合併後に、国内の生産体制を見直し、部品相互補完のための生産ラインの共通化及び生産設備の汎用化施策を進め、当期において概ね完了したことを契機として、減価償却方法を見直した結果、定額法が、資産の将来の経済的便益が消費されると予測されるパターンをより適切に反映すると判断したためであります。

この結果、従来の方法に比較して、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ121百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,904	17,354
受取手形及び売掛金	17,200	18,669
製品	1,065	1,409
仕掛品	9,509	11,029
原材料	1,360	1,446
貯蔵品	351	363
その他	5,220	4,444
流動資産合計	51,612	54,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,622	27,603
機械装置及び運搬具(純額)	22,000	22,754
工具器具及び備品(純額)	6,407	7,310
土地	8,815	9,384
建設仮勘定	6,199	5,253
有形固定資産合計	70,044	72,305
無形固定資産	1,093	1,000
投資その他の資産		
投資有価証券	4,395	3,967
その他	2,797	3,229
投資その他の資産合計	7,193	7,196
固定資産合計	78,331	80,502
資産合計	129,944	135,219
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,780	13,621
短期借入金	23,825	24,669
1年内返済予定の長期借入金	6,453	6,969
未払金	5,139	5,482
未払法人税等	1,861	1,134
賞与引当金	917	827
その他	5,178	5,317
流動負債合計	56,157	58,021
固定負債		
長期借入金	9,906	9,006
退職給付引当金	1,086	1,127
その他	1,914	1,968
固定負債合計	12,907	12,102
負債合計	69,064	70,123

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,863	1,863
資本剰余金	20,865	20,865
利益剰余金	35,923	37,836
自己株式	△20	△20
株主資本合計	58,632	60,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	957	810
為替換算調整勘定	△5,538	△3,254
その他の包括利益累計額合計	△4,580	△2,443
少数株主持分	6,827	6,994
純資産合計	60,879	65,095
負債純資産合計	129,944	135,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	27,687	38,321
売上原価	25,134	32,328
売上総利益	2,552	5,992
販売費及び一般管理費	1,930	2,247
営業利益	622	3,744
営業外収益		
受取利息	34	62
受取配当金	12	12
その他	50	99
営業外収益合計	97	174
営業外費用		
支払利息	194	189
為替差損	135	163
その他	7	31
営業外費用合計	337	383
経常利益	382	3,535
特別利益		
固定資産売却益	4	2
負ののれん発生益	9,127	—
特別利益合計	9,131	2
特別損失		
固定資産売却損	0	9
固定資産除却損	11	5
段階取得に係る差損	261	—
特別損失合計	274	14
税金等調整前四半期純利益	9,239	3,522
法人税等	△99	1,202
少数株主損益調整前四半期純利益	9,339	2,319
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△77	123
四半期純利益	9,416	2,196

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,339	2,319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△146
為替換算調整勘定	967	2,413
持分法適用会社に対する持分相当額	—	3
その他の包括利益合計	973	2,269
四半期包括利益	10,312	4,589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,728	4,333
少数株主に係る四半期包括利益	584	255

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	5,294	6,927	2,762	4,541	6,675	1,486	27,687
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,724	15	0	2	93	—	1,836
計	7,019	6,942	2,762	4,543	6,769	1,486	29,524
セグメント利益 又は損失(△)	△365	△470	596	689	450	93	993

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	993
セグメント間取引消去等	△387
のれんの償却額	15
四半期連結損益計算書の営業利益	622

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「日本」セグメントにおいて、平成23年4月1日を効力発生日とする高尾金属工業株式会社との合併により負ののれんを認識いたしました。

なお、負ののれん発生益の計上額は当第1四半期連結累計期間において9,127百万円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

5. 報告セグメントごとの資産に関する情報

平成23年4月1日付の高尾金属工業株式会社との合併により、前連結会計年度の末日に比して、当第1四半期連結会計期間の末日における報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その内容は、次のとおりであります。

日本	83,067百万円	(前連結会計年度末	41,367百万円)
北米	28,084百万円	(前連結会計年度末	3,284百万円)
欧州	8,304百万円		
アジア	17,861百万円		
中国	24,944百万円	(前連結会計年度末	17,156百万円)

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	10,463	14,683	2,165	3,700	6,008	1,300	38,321
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,699	9	0	5	179	—	2,895
計	13,163	14,693	2,165	3,705	6,188	1,300	41,216
セグメント利益	1,588	765	279	470	620	91	3,815

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,815
セグメント間取引消去等	△86
のれんの償却額	15
四半期連結損益計算書の営業利益	3,744

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更等に記載のとおり、当社及び一部の海外連結子会社における有形固定資産の減価償却方法は、従来、定率法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この結果、従来の方法に比較して、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が、「日本」で111百万円、「北米」で10百万円それぞれ増加しております。

5. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 平成24年6月29日開催の取締役会において、公募による新株式発行に関する決議を行い、平成24年7月17日に払込が完了しました。その概要は以下のとおりであります。

公募による新株式発行(一般募集)

① 募集株式の種類及び数	当社普通株式	2,800,000株
② 発行価格	1株につき	1,944円
③ 発行価格の総額		5,443百万円
④ 払込金額	1株につき	1,842.70円
⑤ 払込金額の総額		5,159百万円
⑥ 増加する資本金の額		2,579百万円
⑦ 増加する資本準備金の額		2,579百万円
⑧ 払込期日		平成24年7月17日

2. 平成24年6月29日開催の取締役会において、当社株式の売出し(オーバーアロットメントによる売出し)及び第三者割当による新株式発行に関する決議を行い、平成24年7月27日に払込が完了しました。その概要は以下のとおりであります。

当社株式の売出し(オーバーアロットメントによる売出し)

① 売出株式の種類及び数	当社普通株式	400,000株
② 売出価格	1株につき	1,944円
③ 売出価格の総額		777百万円
④ 受渡期日		平成24年7月18日

第三者割当による新株式発行

① 発行株式の種類及び数	当社普通株式	230,900株
② 払込金額	1株につき	1,842.70円
③ 払込金額の総額		425百万円
④ 増加する資本金の額		212百万円
⑤ 増加する資本準備金の額		212百万円
⑥ 割当先及び割当株式数	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	230,900株
⑦ 払込期日		平成24年7月27日

3. 資金の使途について

今回の公募増資及び第三者割当に係る手取額については、3,500百万円を平成27年3月末までに当社子会社への投融資資金に充当し、残額を平成25年3月末までにインドネシア及びメキシコにおける当社関係会社への出資金のために借り入れた資金の返済資金等に充当する予定であります。

投融資先の資金使途については、全額を平成27年3月末までにPT.G-TEKT Indonesia Manufacturingにおける車体骨格部品及び精密部品関連事業の工場新設のための設備投資資金に充当する予定であります。